

宇治市総合計画審議会
第1回全体会
議事要旨

宇治市

第1回宇治市総合計画審議会 議事要旨

<開催年月日>2020(令和2)年12月26日(土)14時～

<開催場所>市役所議会棟3階 第三委員会室

<出席者>

・委員

真山 達志(委員長)	同志社大学政策学部 教授
多田 ひろみ(副委員長)	宇治市女性の会連絡協議会 会長
塚口 博司	立命館大学理工学部 特別任用教授
築山 崇	京都府立大学 名誉教授
牧 紀男	京都大学防災研究所社会防災研究部門 教授
鷺ノ口 悟	南山城地区労働者福祉協議会 事務局長
奥西 隆三	社会福祉法人宇治市社会福祉協議会 会長
川口 龍雄	京都府山城広域振興局 局長
小永井 宏子	宇治市国際親善協会 副会長
城市 哲	ソフトバンク株式会社 参与
多田 重光	公益社団法人宇治市観光協会 専務理事兼事務局長
土井 邦紘	一般社団法人宇治久世医師会 監事
長谷川 理生也	宇治商工会議所 専務理事
服部 広志	株式会社京都銀行 宇治支店長
平田 研一	一般財団法人宇治市スポーツ協会 会長
松本 嘉一	宇治市連合喜老会 会長
吉田 利一	京都やましろ農業協同組合 副組合長理事
渡邊 智美	宇治市連合育友会 副会長
相川 道代	市民公募委員
下川 浩正	市民公募委員
薄田 徹	市民公募委員

高田 悦子	市民公募委員
谷口 宜秀	市民公募委員
寺川 徹	市民公募委員
日野 真代	市民公募委員
向山 ひろ子	市民公募委員
安井 大斗	市民公募委員
山本 互	市民公募委員

計28名

・理事者

松村 淳子	市長
木村 幸人	副市長

・部長

脇坂 英昭	市長公室長
濱岡 洋史	危機管理監
貝 康規	政策経営部長
本城 洋一	総務部長
松田 敏幸	産業地域振興部長
福井 康晴	人権環境部長
星川 修	福祉こども部長
藤田 佳也	健康長寿部長
平野 裕之	理事
平野 正人	建設部長
久下 伸	都市整備部長
畑下 茂生	議会事務局長
秋元 尚	上下水道部長
伊賀 和彦	教育部長
吉田 昭	消防長

・総合計画審議会事務局

遠坂 尚	所管副部長(政策経営部副部長)
大北 浩之	審議会事務局長(経営戦略課長)
佐々木 卓也	担当者(経営戦略課)
藤丸 博克	担当者(経営戦略課)
小松原 紀一郎	担当者(経営戦略課)

計 22 名

<審議会次第>

1. はじめに
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶
4. 正副委員長の選出
5. 議事
 - ① 諮問
 - ② 宇治市総合計画の策定について
6. その他
7. 閉会

<会議内容>

1. はじめに

【事務局】

それでは、定刻になりましたので、会議をはじめさせていただきます。

◇欠席者の説明(酒井久美子委員、白須正委員、吉村優一委員 計3名)

2. 委嘱状交付

【事務局】

まず、はじめに、宇治市総合計画審議会第17期委員としてご就任頂きます皆様方に、委嘱状を交付させていただきます。

【市長】

委嘱状、宇治市総合計画審議会委員を委嘱します。令和2年12月26日宇治市長松村淳子。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

◇委員の方々の紹介、宇治市役所の出席者紹介

3. 市長挨拶

◇市長より開会挨拶

令和2年12月19日より、第19代宇治市長に就任しました松村です。本日は、ご多忙にもかかわらず、第1回宇治市総合計画審議会にご出席頂きありがとうございます。また、日頃より宇治市政の推進にご協力頂きありがとうございます。

宇治市でも、人口減少が進展しており、平成27年の国立社会保障・人口問題研究所の推計においても少子高齢化が進展していくことが予測されています。このような状況は、税収減少や社会保障費の増加など経済的な問題だけではなく、地域コミュニティの希薄化などの地域問題においても大きな課題です。また、新型コロナウイルス感染症が、日本、そして世界において流行してい

ます。このような中で、宇治市政をしっかりと推進していくことがウィズ・ポストコロナの時代に求められていると考えています。

宇治市総合計画審議会は、昭和 47 年に設置し、宇治市のまちづくりの根幹となる総合計画の策定に関して審議会に諮問し、答申頂くという位置づけです。

第 5 次総合計画では、「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」を目指す都市像とし、「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」をまちづくりの目標として掲げ、様々な施策及び事務事業に積極的に取り組んできました。

今回は新たな宇治市の総合計画の議論をお願いしたいと考えています。少子高齢化の進展やウィズ・ポストコロナの中で宇治市としてどのような取り組みをするべきか、経済的な問題・資源を効果的・効率的に使っていく視点が必要です。一方で、市民には、宇治市に住みたい、住み続けたいと思ってもらえるような総合計画としていきたいです。そのため、総合計画の中に 50 年後、100 年後を見据えて、安心・躍動・再スタートの 3 つをキーワードとして取組を進めていきたいと考えています。

宇治市の根幹となる計画であるため、令和 4 年度からスタートする計画を 1 年以上かけて議論頂くことになります。これから先を見据えた宇治市を皆様方と一緒に作り上げていくため、委員 1 人ひとりの忌憚のないご意見を頂きたいと考えています。

4. 正副委員長の選出

【事務局】

早速ではございますが、会議次第 4 の正副委員長の選出に移りたいと存じます。宇治市総合計画審議会設置条例の第 4 条におきまして、「審議会に委員長及び副委員長をそれぞれ 1 人置く。」と規定があり、同条第 2 項において、「委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。」こととなっております。これに基づきまして、選出をお願いしたいと存じます。

どなたかご推薦を頂けないでしょうか。

【委員】

従来から、委員長は学識経験者に、副委員長には関係団体の役職員さんにそれぞれご就任頂いております。委員長には、前回も委員長をして頂いております同志社大学教授の真山委員さんに、副委員長には、前回も宇治市女性の会連絡協議会の会長さんをお願いしておりましたので

引き続き、多田委員さんに、このお二人を推薦申し上げたいと存じます。いかがでございましょうか。

【事務局】

ただいま、委員長に真山委員さん、副委員長に多田委員さんをご推薦頂きましたが、皆様いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【事務局】

ご異議がないようですので、委員長を真山委員さん、副委員長を多田委員さんをお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【委員長】

ただいま委員長にご推薦頂きました同志社大学教授の真山です。改めまして、どうぞよろしくお願い申し上げます。今回、宇治市の総合計画策定のための審議会にお集まり頂いていますが、総合計画は宇治市の最上位計画であり、すべての分野において総合的な行政運営、政策展開を計画的に進めていくものです。今回、市長も変わり、新しい宇治市がスタートしますが、一方で、新型コロナウイルス感染症が蔓延しており、これまでの社会の常識やさまざまな制度が必ずしもうまく機能しないことが明らかになってきています。

今後、新型コロナウイルス感染症はある程度収束していくと考えられますが、新しい社会の仕組みや価値観を作っていかなければならないことに変わりはありません。宇治市では、このような時期に総合計画を策定するため、新しい時代を見据えた新しい宇治市を作っていくという考え方で審議頂く必要があると考えます。ご多用の中、恐縮ですが、審議にご協力頂けますようどうぞよろしくお願い致します。

【副委員長】

宇治市女性の会連動協議会の多田です。皆様方と一緒に、総合計画の審議会がこれまでの継続ではなく、新しい宇治市の出発に寄与していきたいです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

5. 議事

① 諮問

【委員長】

これより、第1回総合計画審議会を開会します。

【事務局】

それでは、松村市長から宇治市総合計画の策定につきまして、宇治市総合計画審議会に諮問をさせていただきます。

【市長】

宇治市総合計画策定審議会委員長 真山達志様。宇治市総合計画策定について、宇治市総合計画審議会設置条例第2条の規定に基づき、下記のとおり諮問します。記、「宇治市総合計画の策定について貴審議会の意見を問う」。令和2年12月26日宇治市長 松村淳子。

② 宇治市総合計画の策定について

【委員長】

ありがとうございました。それでは、会議次第5、議事の②、宇治市総合計画の策定について、事務局より説明をお願いします。

《 資料④新しい総合計画策定にあたっての基本的な考え方について 》

《 資料⑤宇治市まちづくりに関するアンケート調査ご協力のお願い(調査票)案 》

【委員長】

それでは、事務局の説明に対し、ご意見やご質問のある方は、挙手をお願いします。

【委員】

ただいまご説明頂いたアンケート調査は、従来と実施方法が同じであるが、市民参画や市民の意見聴取する方法について他の方法も検討されているのか確認したいです。

【事務局】

ご提示しているアンケートは、従来と同様の方法で実施予定ですが、その他、Web アンケートやパブリックコメント、ワークショップなどの実施も検討しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案しながら、あらゆる方法での市民参画の機会の設定を検討しているところです。

【委員】

市民の関心が低いや市民にとってわかりにくいという意見もあったように、市のホームページや公共施設などでの案内で募集する方法は従来と同じです。他市でも実施しているように、無作為で地域や年齢など抽出し、市から声掛けするような手法も検討してほしいです。

【事務局】

今回の総合計画の策定の1番のポイントは、市民とともに作り上げることであるため、あらゆる手法を検討し進めていきたいと考えています。

【委員長】

市民参画については、審議会に市民に参加頂いているのも1つであると思いますが、積極的に発言されない方の意見を吸い上げるのかという点について、方法・機会を工夫していくことが必要です。委員の方々の意見を踏まえて検討していく必要があります。

【市長】

市長に就任し1週間であり、総合計画をどのように作り上げるかについて、職員と議論が十分にできていないため、市民の声をどのように計画に盛り込んでいくか、これからあらゆる方法を検討していきたいと考えています。審議会の第2回目までに、どのような形で市民の意見を聞いていくか、また、市民の意見を計画に反映していくか検討し、改めて相談させて頂きたいと考えています。

【委員】

アンケート調査の属性の設問について、年齢は70歳以上という選択肢が設定されていますが、高齢化の進展を踏まえて、70歳以上を一括りにしてもよいか検討が必要です。例えば、70歳と80歳では、市民活動への参加方法なども変わってくるため、年齢はよりきめ細かく設定するべきと考えます。また、中学生や高校生の意見も聞いて、計画に反映することも必要です。

【事務局】

総合計画は最上位の計画であり、あらゆる分野の方向性を検討していく必要があると考えているため、改めて検討を進めていきたいと考えています。また、20歳以下についてはアンケート以外の方法で意見を聞く機会を設定することも検討しています。

【委員】

アンケートの対象は個人となっていますが、宇治市を構成する自治会という単位も考えられます。自治会は住民の要望や課題を抱えている団体であるため、ヒアリングなど意見を聞いて頂ける機会を設定してほしいです。

【事務局】

今後、コミュニティが重要になってくることは認識しているため、さまざまな意見聴取方法を検討し、改めて報告させていただきます。

【副委員長】

アンケート調査は、どのような方法で実施する予定か確認したいです。

【事務局】

アンケートは、前回同様 3,000 名無作為抽出し実施する予定であり、調査票は郵送で配布・回収を予定しています。

【委員】

ご提示頂いているアンケートはよく見たことのある設問になっています。これは庁内でどの程度調整された調査票になっているか確認したいです。また、今回は、総合計画を策定するための基礎調査となるアンケートであることを鏡文でわかるように説明が必要と考えます。

【事務局】

庁内関係部局と連携し調査票を作成しており、前回の総合計画策定時の結果との比較を考慮した設問としています。また、ご指摘頂いたとおり、今回のアンケート実施の趣旨を説明文として追加します。

【委員】

今回のアンケート調査が、いつもと違うということがわかる鏡文があると、住民として回答する意欲が変わると思います。また、市民参画についてですが、審議会の場合には、市民は発言をすることが非常に難しいため、発言しやすいよう配慮をお願いしたいです。

【事務局】

前回の総合計画策定時にも同様の意見があったため、可能な限り、市民委員が意見を言いやすい場の設定・工夫をしていく予定です。例えば、審議会は、全体会とは別に少人数で検討頂く専門部会を設定することも予定しています。

【委員長】

本日、ご意見頂いたように、会議の運営方法を含めて、委員の意見を可能な限り聞いて計画に取り込めるよう対応をお願いします。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、従来のように集まって会議をすることが難しい状況でもあるため、その点を考慮しながら進めてほしいです。

6. その他

【委員長】

ありがとうございました。それでは、会議次第 6、その他について事務局より説明をお願いします。

《資料⑥ 宇治市総合計画審議会リモート会議実施に向けたオンライン環境等の現況調査》

【事務局】

新型コロナウイルス感染症の影響により、接触が制限されている現状を踏まえて、会議の開催にあたって対策を講じる必要があるため、必要に応じてリモートによる開催を検討しています。そ

のため、委員の方々のご自宅などでのリモート環境の状況を把握するための調査にご協力をお願い致します。

【委員長】

リモートによる会議は、さまざまご意見があると思いますが、リモートの方が話しやすい場面もあるなどのメリットもあるため、新しい方法を試しながら、より内容の濃い議論を進めていけるとよいと思います。

7. 閉会

【委員長】

それでは、これをもちまして、第1回の審議会を閉じさせていただきます。

---了---